

江崎知事 × 坂祝町立坂祝中学校
若者未来デザイン会議with学校給食 開催概要



(知事と参加者の皆さん)

1. 日 時

令和7年10月31日（金） 11：50～13：15

2. 場 所

坂祝町立坂祝中学校

3. 参加者

①第1部 若者未来デザイン会議

テーマ：人口！ゲットだぜ！～愛着と誇りある岐阜へ～

生徒会前期執行部 6名

江崎知事、未来創成局長、子ども・女性部次長

②第2部 給食・懇談

中学生学校給食選手権参加者 6名

伊藤敬宏坂祝町長

江崎知事

4. 第1部 若者未来デザイン会議



○生徒の皆さんからの提案

テーマ：「人口！ゲットだぜ！～愛着と誇りある岐阜へ～」

【提案までの活動】

- ・坂祝中学校には「福祉」「学習」「美化」「合唱」の取組みを4本柱として、伝統的に大切にしている。
- ・「福祉」では、“普段の暮らしを幸せに”する活動を実施。資源回収では、地域とのつながりを得るだけでなく、得たお金で学校みんなのために卓球ラケットなどを購入。また、全校レクを自ら企画・運営し、学年の壁を越えて全校の輪を広げている。そして、あいさつ運動を始め、朝からお互いに「幸せのおすそ分け」をしている。
- ・そのほか、全校の2／3がボランティア活動に参加しており、地域の清掃活動などに積極的に参加している。
- ・「学習」では、小集団による話し合いで仲間と共に学ぶ姿勢を大切に取り組んでいる。
- ・「美化」では、“朝の落ち葉拾いボランティア”を生徒会執行部と整美委員会がコラボし、やり方を工夫して実施している。
- ・「合唱」では、文化委員、文化班を中心にアドバイスし合い、何度も歌って、日々合唱の向上を目指している。さらに、定期的に校内で合唱交流を行い、他の学級の良さを認め、取り入れている。
- ・このように四本柱を中心自分たちで学校をよりよくする活動や、仲間と一緒に認め合う活動などに取り組むことで、坂祝中学校に「愛着」が湧き、このようなことができる自分たちや学校に「誇り」をもつことができた。

このような活動を通して、坂祝中学校に愛着と誇りを持ち、坂祝中学校が大好きになったように、岐阜県の皆さんにも、自分の住んでいる街や岐阜県に「愛着」と「誇り」を持ってもらえば、岐阜県をもっと好きになり、これからも住み続けたり、たとえ県外へ行っても、また帰ってきてくれるのではないかと考えた。

【知事への施策提案】

- ・「岐阜県には人口が減っているという課題がある」ということを改めて知り、考え、話合った。現在は特に若い世代が県外へ行ってしまい、人口減少が加速している。
- ・若い世代が減ると、お店や病院、農業などの担い手が減り、お店が減ったり、税金で得る収入が減ったり、病院が少なくなつて困る。また、高齢者が病院に行くのも大変になる。
- ・さらに、子どもが生まれる人数も減ってしまうが、産んで育てる自信がないという話題が話し合いの中でも出た。
- ・「子育てがしやすい坂祝町、岐阜県」にしたい、「若い人に魅力的な岐阜県」にしたい。
- ・そこで、知事に3つの提言をしたい。
 - ① 「大型ショッピングモールに託児所を作る」
 - ・行政と民間がコラボして、大型ショッピングモールに託児所を設置する。
 - ・例えば1時間無料、2時間目は300円など、安い値段で利用できるようにする。
 - ・育児で大変なお母さん、お父さんに束の間の安らぎを提供でき、小さい子どもがいても気軽にショッピングモールに来てもらい、たくさん買い物をしてもらうことで、経済成長にもつながる。
 - ・育児で家にこもりがちな保護者の皆さんに外出してもらう良い機会になり、「岐阜は育児がしやすい場所なんだ」と思ってもらえる。
 - ② 「朝食をお店で～モーニングプロジェクト・毎日栄養のある朝食をお店で～」
 - ・坂祝町では朝食を大切にしている。同じように岐阜県全体で朝食を大切にすることができるれば、健康に過ごせる県になり、さらに岐阜県の良さを知ることができる。
 - ・知事が高齢者の施策として行っている「ぎふモーニングプロジェクト」をヒントにして考えた。
 - ・具体的には、地元の小中学生などの登校時間前に朝食が食べられるようお店を6時半から開けてもらい、栄養満点で地元の特産品が使われているモーニングを家族みんなで食べていく。
 - ・各家庭では朝食の準備や片付けがいらず、家族で栄養満点の朝食を食べることができ、健康で元気に過ごすことができる。また、地域のお店が繁盛し、普段関わらない地域の人との繋がりもできる。
 - ・さらに、朝食を食べたお店の良さを、SNSのレビューに記載してもらい、その人にはお店で使えるクーポンを配布。
 - ・そうすることで、再び来店してもらうことができ、さらには県外の人にもお店の良さが伝わり、活性化につながる。

③ 「自然、地域、音楽でつながる岐阜！大型フェス！」

- ・下記の4つの取組みを取り入れた大型フェスを開催。
- ・「岐阜のおいしいものを集めよう！」という企画で、それぞれの市町村の特産品を1つずつ出品してもらい、お得に購入できるようにする。また、特産品を使った郷土料理を食べ歩きできるようにする。そのお店で購入すると各市町村のスタンプを押してもらえるスタンプラリーを実施し、楽しみながら買うことができる。
- ・「集まれ！岐阜県の中・高校生！」という企画で、中・高校生の発表や販売、体験ができるようにする。各学校で取り組んでいることを発表したり、農林高校や工業高校などで作るもの販売、展示できるようにすることで、未来の岐阜を支える若者に活動の場を提供することができる。
- ・「岐阜県ゆかりの芸能人などを招待した音楽フェスの同時開催」という企画で、岐阜県ゆかりの有名人を呼び、SNSを活用して情報発信を行う。それにより、若者を岐阜に呼び込むことができる。
- ・「来た時よりも美しく！リサイクルコーナー＆ごみ箱の設置」

○子ども・女性部次長のコメント

- ・人口減少は、「これをやったら改善する」というすぐに結果が出ない社会課題。
- ・若い世代の皆さんに、これからそれをどうしたらいいのか、自身の両親の困りごとは何かということを身近な例で考え、その困りごとの解消だけでなく、経済の豊かさにつながるところまで考えて提案いただけたことが嬉しい。
- ・①の提言については、類似施策として、支援をしたい人が登録して、支援をしてもらいたい人が利用する「ファミリーサポートセンター」という制度がある。それは坂祝町でも一生懸命やっている施設。坂祝町では、こども園で一時的に子どもを預かっているところがあると聞いている。
- ・その中で、皆さんの提言の大事なところは「企業とのコラボ」というところであるが、実際にショッピングモールには皆さんの提案の（買い物で来店するお母さん、お父さんの利用を想定した）サービスはないと思う。
- ・参考になる例として、岐阜地域にあるショッピングモールでは、企業内保育所（従業員のための保育所）があり、そういう保育所も地域の方のために開放できるという柔軟な使い方ができるため、実際に地域の方が利用できるようにしているところがある。今後、買い物や病院に寄るために少し預けたいという使い方ができると余裕をもって子育てができるので、もっとこういう取組みが広がるよう、そのような枠組みを一生懸命増やしていきたい。
- ・実は、人に子どもを預けることに、ハードルを感じる方もいる。このような取組みの中で、少しずつ保育サービスを利用するという経験ができるという取組みとしても広げていきたい。
- ・②については、このモーニングを「みなさんの朝食として使う」という視点はなかったのは、新しい考え方。
- ・まだ高齢者施策として始まったばかりであるため、今後どのように皆さんの提言のように活用していくか、見定めていきたい。

○未来創成局長のコメント

- ・坂祝町だけでなく、岐阜県全体に通じる提案で凄いと感じた。また、みなさんの日常の活動も地域を支える活動となっていることが、大変素晴らしい。
- ・提案については、県全体につながる提案であったため、子ども女性部も含め、色々な部局で活動できるよう各部に繋げていきたい。
- ・特に③の大型フェスは、色々なイベントを企画して交流人口、すなわち「岐阜県に来る人」を増やすという狙いは、まさに私たちが頑張っているところなので、今日のアイデアは多くの部局で活用させていただきたい。
- ・つい先日も、県庁周辺で「農業フェスティバル」を行い、その前には「ねんりんピック」を開催し、中高生の皆さんが活躍できるよう意識して実施しており、一部はすでに取り組んでいるところもあるが、今後も取り組んでいきたいと考えている。
- ・このような提案は、今回だけでなくこれからも積極的に提案してほしい。

素晴らしい施策の提案、ありがとうございました！

いただいた意見や提案については、今後県施策に活かすため、検討を進めていきます。
反映結果は参加した皆さんに報告するほか、県ホームページ等で公表します。

(年度末を予定)

○知事のコメント

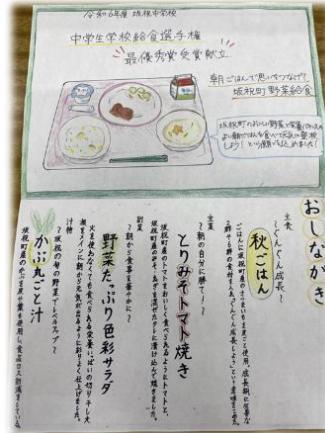
- ・皆さんの提案は大変「視点」が良かった。一番は、「お母さん、お父さんに安らぎを与える」という視点。実は、これはすごく大事なこと。
- ・例えば子ども食堂。これは実は子どものために始めたものであったが、一番助かったのはお母さんだった。特には、ひとり親のお母さんやお父さん。食事を作ることが楽になったというより、同じ境遇の人たちと話す貴重な場所になったと聞いた。この視点が中学生の皆さんからアイデアとして出てくるというのは本当に素晴らしい。
- ・モーニングプロジェクトについて、さすがだなと思ったのは、「普段関わりのない人と関わる場所になる」という視点。これはすごく大事。
- ・今まででは「行きつけの場所に集まる」ことを考えていたが、そこに「普段行けない人」「子育てで引きこもりがちになる人が会える」という点があった。
- ・モーニングに行った人がレビューを書くとクーポンがもらえるという発想。これは、いただきます。これから、ビジネスをする上での最高のPRは、「お客様の口コミ」。これからは、芸能人やテレビコマーシャルよりも、「感動したお客様」がSNSで発信する口コミが効果的。そこに中学生の皆さんがすでに気づいているところが素晴らしい。
- ・大型フェスは、是非坂祝町でもやって欲しい。東濃でも音楽フェスやよさこいのイベントなどで山間などに人を集めて成功している事例があるので、坂祝町も実施できると思う。
- ・今回すごく良かったのは、「幸せのおすそ分け」というキーワード。「こんな幸せなところに来ませんか。坂祝で幸せになりますよ」とPR出来る。
- ・今日は本当に感動した。是非将来一緒に働きましょう。

5. 第2部 給食・懇談

○当日の給食

【令和6年度中学生学校給食選手権最優秀賞】

- ・～ぐんぐん～成長秋ごはん
さつまいもごはん
お米は岐阜県産コシヒカリ 100%、
さつまいもは坂祝町産
- ・～朝の自分に勝て！～とり味噌トマト焼き
トマト、味噌は坂祝町産
- ・～朝から食事を華やかに～野菜たっぷり色彩サラダ
きゅうり、人参は坂祝町産
切り干し大根は岐阜県産
- ・～坂祝の旬の野菜でレベルアップ～かぶ丸ごと汁
かぶ、かぶの葉、ねぎ、人参は坂祝町産
豆腐は岐阜県産
- ・牛乳
グリコ牛乳
- ・ヨーグルト
美濃酪農農業協同組合「ひるがのヨーグルト」



○懇談の様子



- ・坂祝中学校では、食育の一環として「岐阜県中学生学校給食選手権」に参加し、中学生一人ひとりが学校給食を通して朝食を考える機会としています。
- ・2年生では、生徒全員が、一人ひとり献立を考える授業を行っており、校内選考を勝ち抜いた3名が学校代表として、同選手権に出場しています。
- ・今回は、令和6年度と7年度の同校代表が給食懇談に参加し、皆さんから献立に込めた思いや調理の工夫などを発表いただきました。
- ・令和6年度の献立のテーマは「朝ごはんで思いをつなげ！坂祝の野菜給食」。
「生産者の思いをつなぐ」「坂祝町の取組みを未来につなぐ」「給食選手権にかける先輩の思いをつなぐ」という3つの“つなぎたい思い”を込めた献立てで、同選手権で最優秀賞を受賞しています。

- ・献立は、さつまいもやトマト、かぶなど、坂祝町の野菜を数多く取り入れたもの。また、例えば、さつまいもはお米を浸すときに一緒に準備して、さつまいもの甘味が生かせるように炊き込むなど、調理に時間をかけない工夫、美味しくなる工夫も重ねています。こうした取組みを通じて、朝食だけでなく、地元の人とのつながりの大切さを学んだことも報告されました。
- ・また、令和7年度のメンバーからは、献立のテーマ「坂祝の野菜で朝から元気！「感食」の朝ごはん給食」として、2年生が先輩方の思いを引き継いでメニューを考えていることが発表されました。
- ・当日の給食では、令和6年度で最優秀賞を受賞したメニューを皆さんと一緒に食べました。パッと見ても、とても彩り鮮やか。実際に食べると、とても美味しい、また、「かぶ丸ごと汁」には「星形」や「ハート」などの飾り野菜が入っているなど、楽しく食べられる工夫もありました。
- ・懇談では、献立への質問のほか、進路選択や高校生の昼食事情など、生徒の皆さんから、自分たちのこれから未来に思いを馳せた質問もありました。
- ・最後は、出席者全員で「給食！！ヤミー」の掛け声で、写真撮影。坂祝中学校の皆さんのが給食への気持ちが伝わってきました。